

(案)

2020年3月2日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

海外動向を踏まえた情報発信について

○ これまでの経緯

(2018年度)

- 2018年度第2回 国際学術情報流通基盤整備事業運営委員会において、国際的・学際的に共同研究を進める日本の研究者コミュニティを主な対象として、国内外の学術情報流通に係る動向を取上げて、情報提供をすることとなった。
- Plan S を取上げて、関連資料の試訳を公開するとともに、こうした動向が我が国を含めた諸地域の実情に照らし合わせた場合の留意事項を整理して公表した。両者は SPARC Japan の web サイトで公開中である。

(2019年度)

- 引き続き Plan S を題材として扱い、2019年5月に cOAlition S が公表した Plan S に関するドキュメント2点を和訳した上で公開した。また、Plan S に関連する基本的な web サイトへのリンクをまとめた、ポータルページを作成した。

○ 今後の発信に向けた検討事項

- 扱うべきトピック
 - Plan S の他は、これまでの委員会審議にて、ハゲタカジャーナルや Sci-Hub が候補として提案されているが、2020年度に情報提供を行うトピックを何にするか。
- 公開手段
 - 引き続き、SPARC Japan web サイト「海外の動向」で公開することで良いか。
<https://www.nii.ac.jp/sparc/about/overseas/index.html>
- 執筆体制
 - 扱うトピックについて作業の方針（情報の収集や提供の仕方等）を策定するために、ご担当いただく委員を決めた上で進めていくのはどうか。
- スケジュール（2020年度）
 - 2020年度に入り、作業体制が整った時点で、担当委員と事務局でスケジュールを確認しながら、作業を開始する